

unifv

東日本ユニオンNIIGATA

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>



2021年2月9日発行

第11号（通巻474号）

JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者：星山 圭 編集者：教育・広報部

2021春闘シリーズ①



全組合員の力を結集し賃上げを実現しよう！

1月29日発表された第3四半期決算は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け過去最低の業績となりました。赤字幅削減のために工期の見直しや清掃委託の見直しなどよりコスト削減に取り組む中、進められている施策があります。必要な投資や施策については進めていく必要がありますが、今この時期に行わなければならないのか疑問に思う施策もあります。

年末手当交渉において経営側は東日本ユニオンの要求に対して赤字であるが満額支払う体力があると説明していましたが、回答は大きく下げた額を提示しました。生活給である年末手当の減額は将来の生活設計に大きく影響します。労働組合として会社のチェック機能を果たすために各種施策や設備投資について、今期に実施しなくてはならないのか、問題はないのか、今まで以上に厳しい目でチェックしていきます。

何故今間内改良をする必要があるのか？

運輸区職場では乗務員休憩室の間内改良を実施しています。これまで自区乗務員専用休憩室を他区乗務員との合同休憩室としたことで、利用人数が増加しコロナ禍において3密の恐れがある環境となっています。また乗務員の休養確保の為に全ての職場においてリクライニングチェアの導入を進めています。休養確保自体を否定するものではありませんが、赤字決算下において今導入する必要があるのでしょうか。本当に社員が望んでいたことであるのか、多くの社員からは何故今その工事をしなければならないのか疑問の声が上がっています。少なくとも年末手当で支給額を下げてもリクライニングチェア導入を望んだ社員はいないのではないのでしょうか？

生活を守るために東日本ユニオンに加入しよう！